

放浪の旅から帰った男。彼は何を想い、何を語るのか？

クラシック・シネマ

『パリ、テキサス』

ドイツ映画の巨匠ヴィム・ヴェンダース監督の最高傑作。ライ・クーダーのスライドギターによる調べ、ハリー・ディーン・スタントンとナスターシャ・キンスキーの生涯最高の演技。そしてハッとするような口ケ撮影は何度も観直したくなる素晴らしさ！

息子よ！俺はお前のために再びリング立つ！
滝のように涙が流れる父と子の物語

クラシック・シネマ

『チャンプ』

落ちぶれたボクサーの父を今も“チャンプ”と言って尊敬する息子の物語は涙無くして観られない！ リッキー・シュローダー少年の健気な演技は涙腺直撃。とにかく泣きたい人に自信を持ってオススメ！ 本作の後に『リアル・スティール』を続けてどうぞ！

ひとりみんなのために！ みんなはひとりのために！
三銃士映画の決定版！

クラシック・シネマ

『三銃士』

数あるアレクサンドル・デュマの小説『三銃士』映画版の中で最高傑作と言われているのが本作と続編。波乱万丈な物語をリアルな時代描写と人を喰ったようなユーモア、そして1970年代を代表する英米スターを揃えたキャストで完璧に映画化！

風雲急を告げるフランス王国！
今こそ四銃士が必要だ！ 堂々たる完結篇！

クラシック・シネマ

『四銃士』

正義の四銃士がフランスを覆う陰謀に立ち向かう第2部。キャラ紹介が主だった前作と違い、本作はオープニングから見せ場に次ぐ見せ場。豪快なチャンバラの中に青年の成長と悲劇的な愛を盛り込んだダイナミックな物語が展開します。この楽しさ、筋金入り！

戦争の嵐が吹き荒れる19世紀ヨーロッパを
運だけで乗り切った男の奇天烈な冒険！

クラシック・シネマ

『ローヤル・フラッシュ』

1970年代、面白い史劇映画を連発した異才リチャード・レスター監督。本作では独特のユーモア感覚を全開させています。『時計じかけのオレンジ』で知られるマルコム・マクダウェルの憎み切れない口ケデナシっぷりは愉快痛快。映画通は必見です！